

# SEIKO

## 掛時計

屋外・防雨型

### 取扱説明書

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。  
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。  
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。  
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明な点がございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

(例: AM、PW、KG など)

フリーダイヤル  
お客様センター ☎ 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

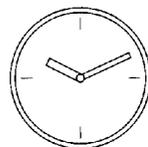
発売元

セイコークロック株式会社

## ご使用方法 ▶ (時計により外觀が異なりますが、操作方法は同じです。)

屋外使用可能な壁掛けタイプのクロックです。  
電池1個で約5年間動き続けます。  
JIS規格の防雨形構造で、外壁、屋外の風雨にさらされる場所でご使用できます。  
時計機械体はパッキンで保護され、ほこり、水滴などが入らない構造です。  
ケースはすべてステンレス製でさびにくい材料を使用しています。

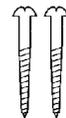
1. 箱から下図のものを出してください。



時計



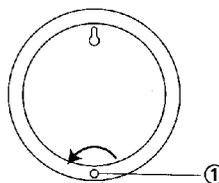
AYプラグボルト  
2個



木ネジ  
2個

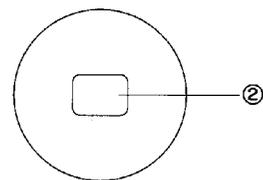
2. 時計体と裏ぶたをはずしてください。

裏ぶたを止めている裏ぶた止めネジを ↶ の方向に回しゆるめてください。裏ぶたがはずれます。



(時計の裏側)

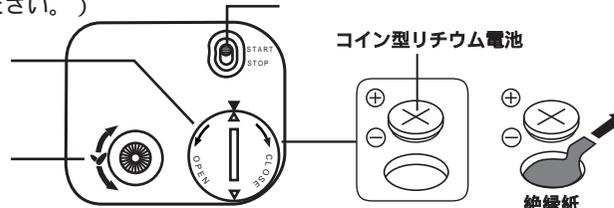
3. 時計体の裏側の機械体カバーをはずしてください。



(時計体の裏側)

4. 電池ぶたをコイン状のもので OPEN(開) ↶ の方向に回して電池ぶたをはずしてください。

5. ⊕ 側を上にして電池を入れ、電池ぶたをコイン状のもので CLOSE(閉) ↷ の方向に押しながら回し、と が合うまでしっかりと閉めてください。  
(絶縁紙がついている場合は絶縁紙をはずして電池を入れてください。)



6. 時刻を合わせてください。  
スタート/ストップスイッチをSTOPに合わせ、針回しを回して時刻を合わせてください。  
左右どちらに回してもかまいません。

7. スタート/ストップスイッチをSTARTに合わせてください。  
STARTに合わせると時計が動きはじめます。

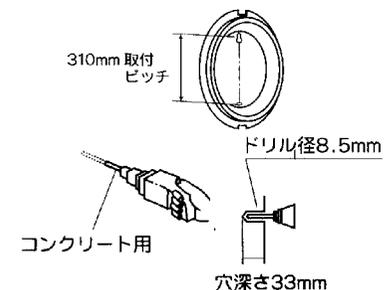
8. 機械体カバーを元の位置にはめてください。

## 時計の取付け方

1. 裏ぶたを壁に取付けてください

(壁面がコンクリートの場合)

付属のAYプラグボルト2個を使用します。



A. 裏ぶたの上下2ヶ所の取付穴位置を壁面にマークします。  
(このとき裏ぶたが垂直になっていることを確認してください。)

B. 上下2ヶ所の穴をコンクリートドリルであけます。

C. 穴の内部をきれいに掃除します。

D. プラグを根元まで差し込みます。

E. ボルトを根元まで入れて、強く締め付けてからゆるめます。

\*強く締め付けないと、くさび効果なくなりプラグが抜けることがあります。ボルトを引っ張って、抜けないか確認してください。

F. 裏ぶたをはめ込み垂直を確認してからしっかりとボルトを締め付けてください。

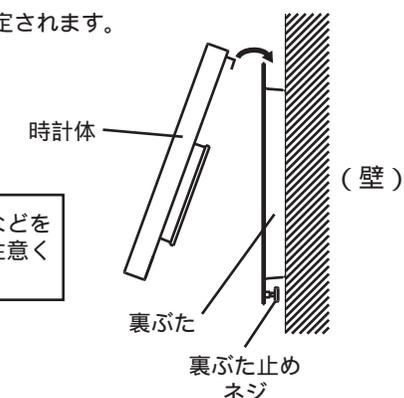
(壁面が木の場合)

付属の木ネジ2個でしっかりと裏ぶたを固定してください。

壁の構造、材質によってはAYプラグボルトまたは木ネジがしっかりと止まらないことがあります。時計を掛ける前に壁の強度をよく確かめてください。  
AYプラグボルトや木ネジの止まりぐあい不十分ですと時計が落ちる危険があります。できるかぎり、最寄りの工務店、電気工事店にご相談の上取付けてください。

2. 壁に取付けた裏ぶたに時計体引っ掛けて、裏ぶた止めねじをしっかりと固定してください。

時計体が裏ぶたに固定されます。



**注意**  
取付けの際は、金属で手などを傷つけないよう、充分ご注意ください。

必ずお守りください。安全上のご注意 ▶

## ⚠ 注意

### < 掛け方について >

時計は確実に掛けてください。  
落下により、けがをする恐れがあります。

1. 壁の材質・構造を確認の上、付属のAYボルトまたは木ネジを使用して、裏ぶたを壁に取付けてください。

木の厚い壁・木の柱に掛ける  
るとき

付属の木ねじをご使用ください。

コンクリートの壁に掛ける  
とき

付属のAYプラグボルトをご使用ください。

2. 壁に取付けた裏ぶたに時計体を引っ掛けて、裏ぶた止めネジで時計体をしっかりと固定してください。

取付けたあとは時計を上下左右に軽く動かし、外れないことを確認してください。

## ⚠ 警告

### < コイン型リチウム電池について >

- (1) 充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。この電池は、リチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- (3) 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると、発火、破裂の原因となります。

## ⚠ 注意

### < 電池について >

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えすと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1) (+)(-) を正しく入れてください。
- (2) 電池を取り替えるときは、指定の新しい電池と交換してください。
- (3) 電池に直接ハンダ付けしないでください。
- (4) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- (5) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。

## 製品仕様 ▶

精 度 : 平均月差 ± 20秒  
(気温 5 から 35 で使用した場合)  
使用温度範囲 : - 20 ~ + 60  
使用電池 : コイン型リチウム電池(CR2477) 1個  
SEIKO SB-T53  
電池寿命 : 約5年  
使用環境 : 屋外・JIS防雨型

\* 上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

コイン型リチウム電池に触れるときは、電池の側面を持ってください。電池の (+)(-) 面を同時に、素手や金属製ピンセットでは持たないでください。電池が使えなくなる原因となります。

必ずお読みになってからご使用下さい。使用場所・電池・お手入れ ▶

## 使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や製品仕様の電池寿命に満たずに電池切れを起こすことがあります。

温度が - 20 (氷点下 20度) 以下になる所。

温度が + 60 (60度) 以上になる所。

強い磁気や振動の激しい所。

## 電池について

添付の電池は工場出荷時より付けられています。

時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。

時計に電池を入れたままにしておくと、電池の電圧がさがり、中の液がもれて、時計やその周りの物を傷めることがあります。

電池には水滴をつけないでください。

## お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

### 日常のお手入れのしかた

枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。

よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ばきしてください。

ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。

殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

ケースはステンレス製でさびにくい材料ですが、周囲の鉄粉などが付着して、もらい錆をおこすことがあります。もらい錆を未然に防ぐために定期的にクリーニングを行なってください。

特に工業地帯や海岸付近はもらい錆が発生しやすいので、長く光沢を保つためには、ステンレスの表面をいつもきれいにしてください。

## 保証・アフターサービス ▶

この時計はメーカー保証です。

保証の内容については別添の保証書をご覧ください。

尚、保証書は日本国内のみ有効です。

また、アフターサービスも海外ではできません。

保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。

保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

この時計の修理用部品は、7年間保有しています。

この期間は原則として修理が可能です。

修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。

また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。

お買上店とよくご相談ください。

修理のとき、部品・その他の付属品は、- 部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただきます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。

ご不明の点は裏面お客様センターにお問い合わせください。